

OseComm32

ユーザマニュアル



OseComm32

ユーザマニュアル

第2版 2017年11月発行

株式会社オプトエレクトロニクス

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO.,LTD.

All rights reserved.


≡ OPTICON

はじめに

本書は、ソフトウェア OseComm32 のユーザマニュアルになります。
ご利用前によくお読みになり、正しく安全にお使いください。

ご注意

- ・ 本書の内容は、製品の仕様変更などにより予告無く変更される場合があります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接、間接の損害、不利益につきましては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本書を印刷する場合は A4 用紙をご指定ください。

著作権について

- ・ 本書の内容はすべて著作権に保護されています。本書の一部または全部を事前の承諾無く、無断で複写、複製、翻訳、変更することは禁じられています。

Copyright (C) 2017, OPTOELECTRONICS CO.,LTD. All rights reserved.

ソフトウェア使用許可許諾書

- ・ Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の商標であり、(株)オプトエレクトロニクスはライセンスに基づいて使用しています。
- ・ iPhone、iPad および iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ その他の社名、商品名などは、それぞれ各社の登録商標および商標です。

商標・登録商標について

株式会社オプトエレクトロニクス (以下「弊社」と記載) は、ソフトウェア (以下、「本ソフトウェア」と記載) の非独占的使用権を下記の条件に基づきお客様に許諾します。

本ソフトウェアの著作権は弊社に帰属し、著作権法、その他の知的財産権に関する法律および条約によって保護されています。

お客様は、下記の条件に同意した場合において、無償で本ソフトウェアを利用することができます。

1. 本ソフトウェアを利用した開発を行う場合、必ず弊社の許諾のもとに開発を行って下さい。
2. バックアップの目的のみで、本ソフトウェアを 1 部に限り複製することができます。
3. 本ソフトウェアを第三者に販売、レンタル、リース、譲渡することはできません。
4. 本ソフトウェアの全部または一部を修正、改変、逆コンパイル、逆アセンブルしたり、第三者にさせたりすることはできません。

-
5. 弊社は、本ソフトウェアおよび関連資料に関して、いかなる保証も行いません。本ソフトウェアおよび関連資料に関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担により解決されるものとします。
 6. 弊社は、本ソフトウェアおよび関連資料の使用により、もしくは使用できなかったことにより生じる直接的、間接的、あるいは特別な損害について、いかなる補償も行いません。
 7. 弊社は、本ソフトウェアの仕様および関連資料の内容を将来予告なしに変更することがあります。
 8. 本ソフトウェアおよび関連資料を日本国外に輸出することはできません。
 9. 本契約の条件に違反した場合、弊社はお客様の使用権を終了することができます。この場合、お客様は本ソフトウェアおよびその複製品を直ちに廃棄するものとします。また、弊社は、これにより弊社が被った損害の賠償をお客様に請求することができます。

サポート

日本

電話: 048-446-1183

Email: tecinfo@opto.co.jp

Web: www.opto.co.jp

Europe

Phone: +31235692728

Email: support@opticon.com

Web: www.opticon.com

目次

はじめに	ii
1 概要.....	i
2 インストール方法.....	2
2.1 OseComm32 のインストール.....	2
3 操作方法.....	6
3.1 メイン画面.....	6
3.1.1 ファイル.....	6
3.1.2 オプション.....	7
3.1.3 言語.....	7
3.1.4 ヘルプ言語.....	7
3.2 通信設定.....	8
3.2.1 通信設定.....	8
3.2.2 プロトコルタスク.....	10
改版履歴.....	19

1 概要

OseComm は、弊社製ハンディターミナルとの通信に用いる新しいプロトコルで、従来のプロトコルである NetO に代わるものです。OseComm プロトコルはファイル送受信以外の機能も備えており、その各機能は「タスク」と呼ばれます。全てのタスクは PC から制御され、また各タスクの実行のため個別に通信を確立する必要はありません。

OseComm32 は、この OseComm プロトコルを用いてハンディターミナルと PC の間で種々の通信機能を実現するアプリケーションです。本書では OseComm32 の使用法について解説します。

■OseComm がサポートするプロトコルタスク

PC からターミナルへのファイル転送

ターミナルから PC へのファイル転送

PC の日付、時刻をターミナルに設定

ターミナルの日付、時刻設定を PC で取得

ターミナル上のアプリケーションのバージョンを PC で取得

ターミナル上の OS バージョンを PC で取得

ターミナル上のファイルのリストを PC で取得

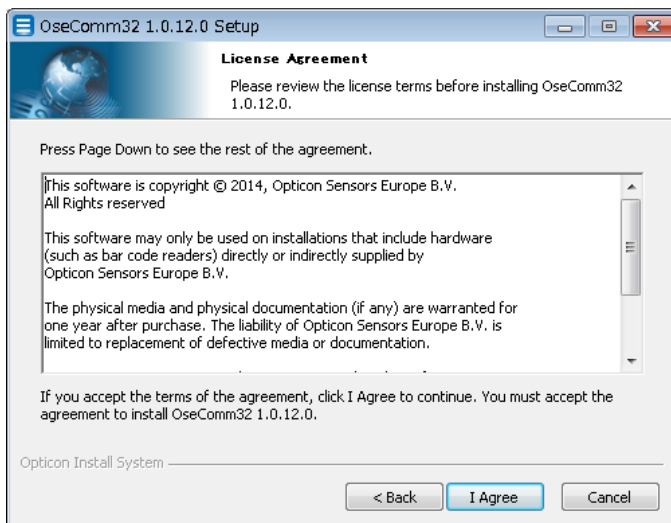
ターミナル上のファイルを削除 (OseComm プロトコル ver. 1.01 以降で対応)

2 インストール方法

2.1 OseComm32 のインストール

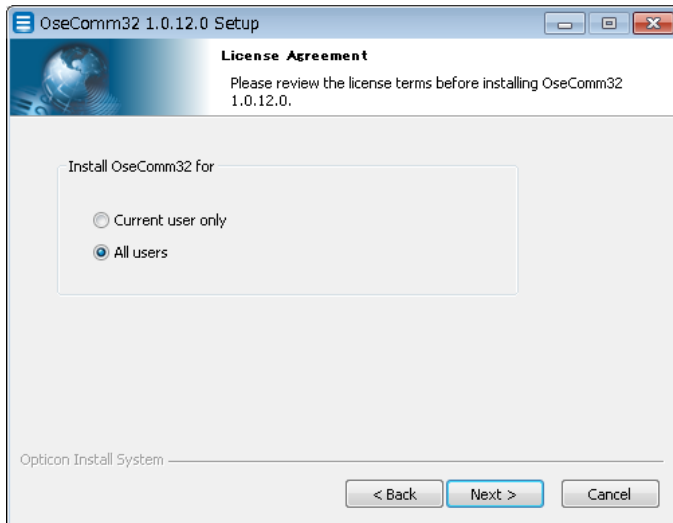
OseComm32 のインストーラパッケージは弊社ウェブサイトからダウンロードできます。

順に[Next >]→[I Agree]をクリックしてください。

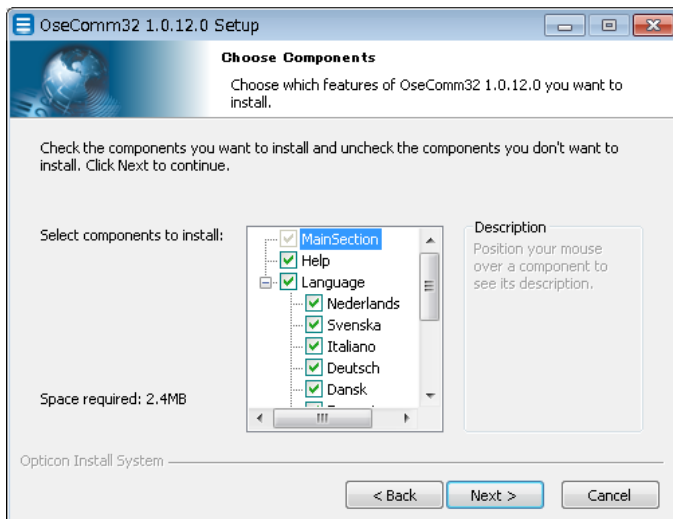


[Install OseComm32 for] → [All users] を選択してください。

[Next >]をクリックしてください。

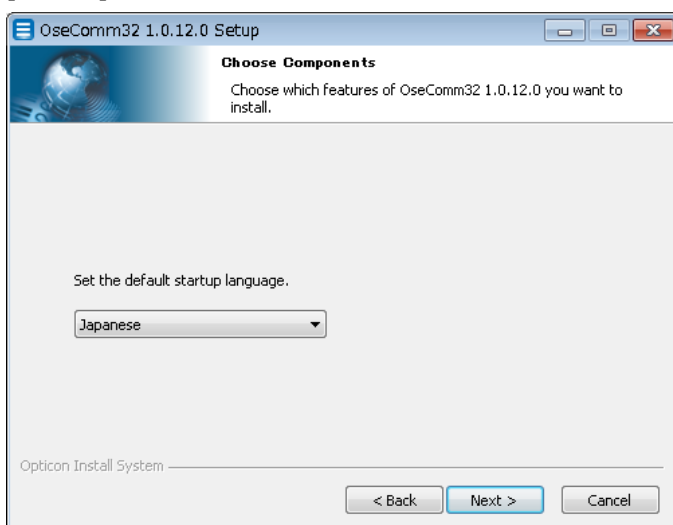


[Next >]をクリックしてください。

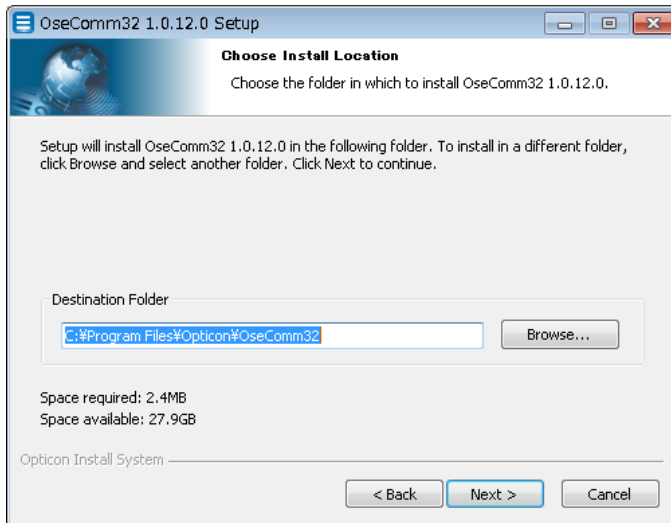


[Set the default startup language] → [Japanese] を選択してください。

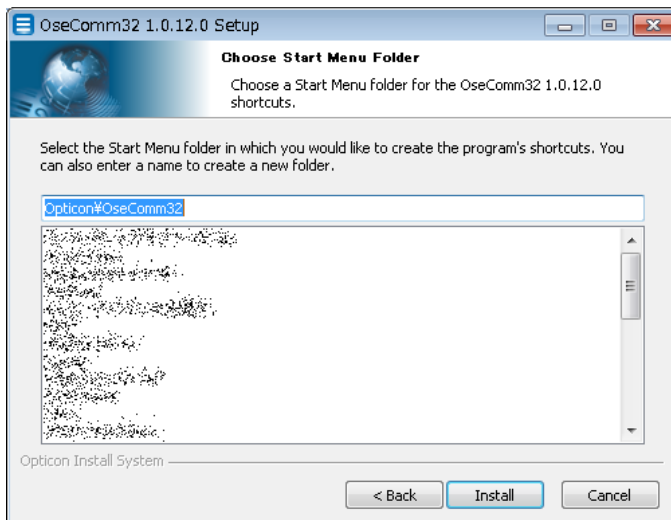
[Next >]をクリックしてください。



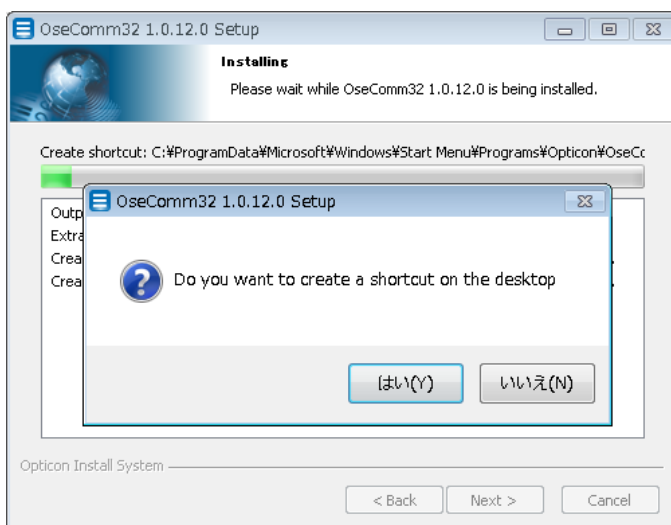
[Next >]をクリックしてください。



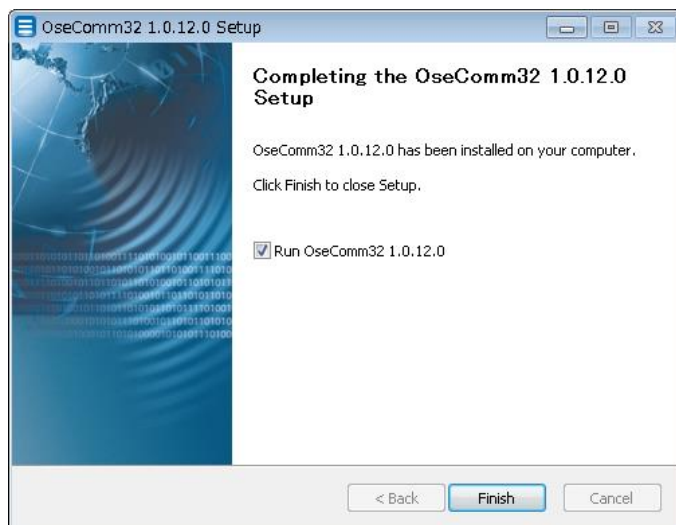
[Install]をクリックしてください。



デスクトップに OseComm32 のショートカットを作成する場合は「はい」を選択してください。



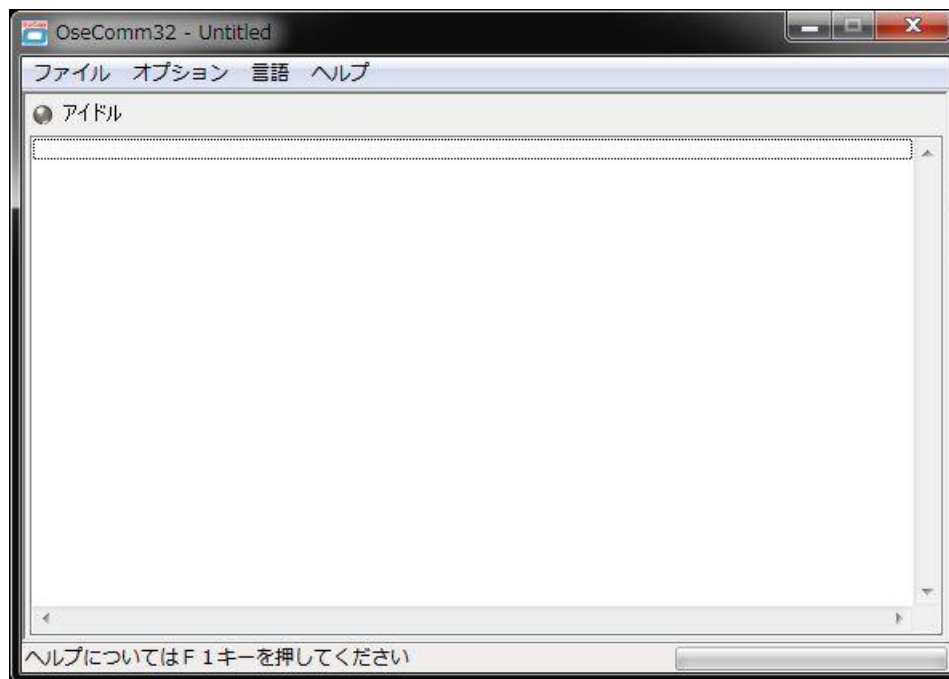
インストールが完了しました。[Finish]をクリックして OseComm32 を起動します。



3 操作方法

3.1 メイン画面

OseComm32 を起動すると、下図のウィンドウが立ち上がります。



3.1.1 ファイル

- インポート
- エクスポート

後述の通信設定などの設定内容をファイル（拡張子 .osf）にエクスポート、また以前にエクスポートしたファイルをインポートします。

- ステータスログ クリア
ウィンドウに表示された通信履歴を消去します。

- 終了
OseComm32 を終了します。

3.1.2 オプション

- プロトコル開始

後述の通信設定の内容に従って、通信を開始します。予め USB、Bluetooth 等によりハンディターミナルと PC が接続されている必要があります。

- プロトコル停止

実行中の通信を停止します。

- 初期設定

現在の設定を破棄して初期設定に戻します。

- 通信設定

ハンディターミナルとの接続に必要な設定、および実行するプロトコルタスクの編集を行います。詳細は 3.2 通信設定 をご覧ください。

3.1.3 言語

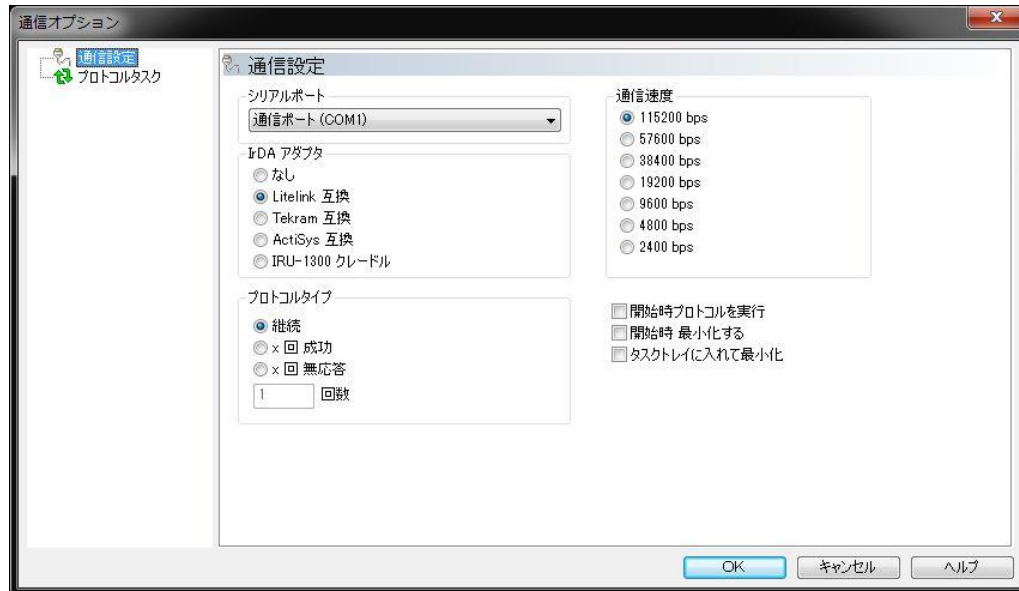
OseComm32 で用いる言語を設定します。インストール時に指定した言語が選択肢に表示されます。

3.1.4 ヘルプ言語

OseComm32 のヘルプ、およびバージョンの表示ができます。

3.2 通信設定

3.2.1 通信設定



- シリアルポート

現在 PC で使用可能なシリアルポートが表示されます。（他のアプリケーションで使用中のシリアルポートも表示されます）

接続したハンディターミナルに対応するシリアルポートを選択してください。

- 通信速度

選択されたシリアルポートでの通信速度を選択してください。この通信速度はハンディターミナルのボーレートに対応している必要があります。

この設定値は PC との接続に用いるための情報であり、実際のデータ転送スピードを制御するものではありません。

デフォルト値は 115200 bps になります。

- IrDA アダプタ

IrDA による接続を行う場合、適切な設定を選択してください。多くのハンディターミナル製品では「Litelink 互換」に対応しており、これがデフォルト値となっています。

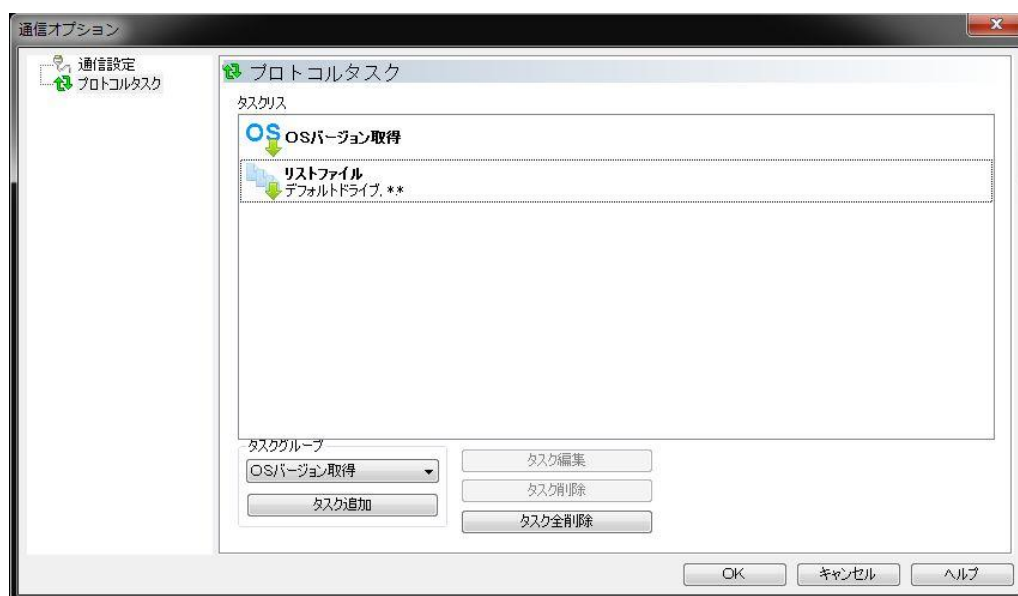
IrDA 以外での接続を行う場合、本項目は無視されます。

- プロトコルタイプ

- 「継続」 通信の成否によりプロトコルを停止することはありません。
- 「x 回 成功」 通信が x 回成功するとプロトコルを停止します。

- 「x回 無応答」 x回ポーリングを行い全て無応答だった場合プロトコルを停止します。
xの値は「回数」欄に入力します。
- 開始時 プロトコルを実行
OseComm32 を起動したら直ちにプロトコルを実行します。
- 開始時 最小化する
OseComm32 の開始時にウィンドウを最小化します。
- タスクトレイに入れて最小化
OseComm32 のウィンドウを最小化する際に、タスクトレイに格納します。

3.2.2 プロトコルタスク



プロトコルで実行するタスクをこの画面で設定します。タスクはタスクリストの上から順番に実行されます。

OseComm32 で実行可能なタスクは以下の通りです。

- OSバージョン取得
- アプリケーションバージョン取得
- 日時取得
- 日時設定
- ファイル受信
- ファイル送信
- リストファイル
- ファイル削除

- OSバージョン取得

接続されたハンディターミナルのOSバージョンを取得します。



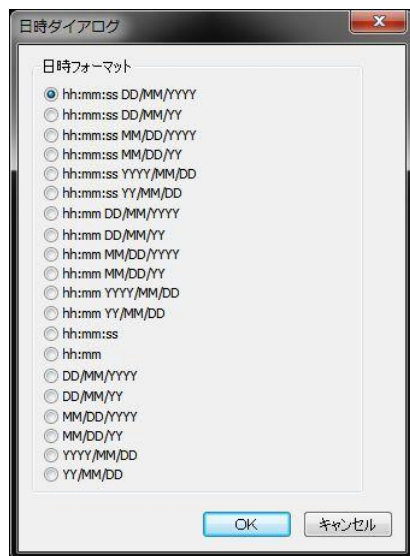
- アプリケーションバージョン取得

接続されたハンディターミナル上のアプリケーションのバージョンを取得します。



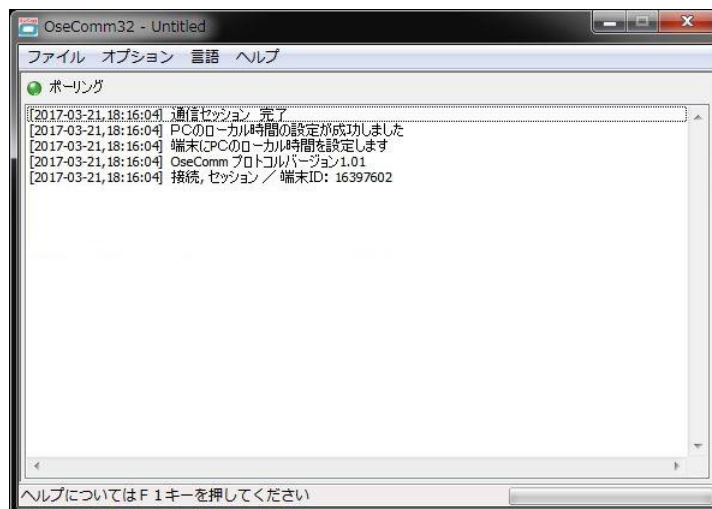
- 日時取得

ハンディターミナルが記憶している日時を取得します。タスクを追加する際に下図のウインドウが出現するので、取得する文字列のフォーマットを選択します。



- 日時設定

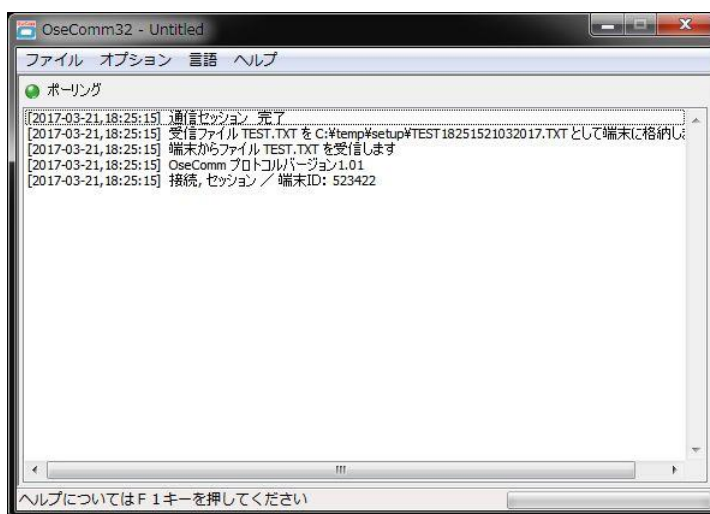
PC の日時をハンディターミナルに送信、設定します。



● ファイル受信

接続されたハンディターミナル上のファイルを PC に保存します。

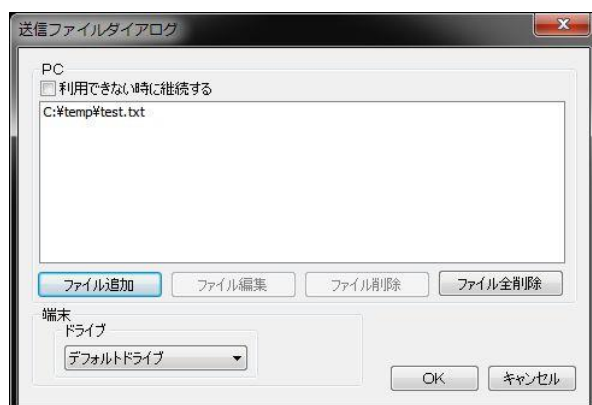
ドライブ		複数のドライブをサポートするターミナルの場合、 選択してください。 単一ドライブのみのターミナルの場合「デフォルト ドライブ」を選択します。
ファイル名		受信するファイル名を指定します。ワイルドカード を使用できます。
利用できない時に継続する		ファイル受信が失敗した場合に以降のタスクを続け て実施します。
ダウンロードフォルダ		受信したファイルを保存するフォルダを指定しま す。
ダウンロードタイプ		受信したファイルを保存するフォルダに、既に同名 のファイルが存在した場合、
	追加ファイル	既存のファイルに合体 (append) させます。
	上書きファイル	既存のファイルに上書き (overwrite) します。
	新しい拡張機能	拡張子を .000 から .999 までの値に変更して保存し ます。
アドバンスドファイル名	新しいファイル	ファイル名に 9999 までの数字を継ぎ足して保存し ます。
		受信したファイルを指定の名前で保存します。複数 の項目にチェックを入れた場合、下のプルダウンメ ニューで指定した順序で命名されます。
	端末ファイル名	ターミナル上のファイル名です。
	端末 ID	ファイル受信を行った OseComm プロトコルのセ ッション ID です。ターミナルのシステムメニュー から受信を行った場合、ランダムな値が入ります。
	時間、日付	ファイルを受信した時間、日付です。



● ファイル送信

PC 上のファイルを、接続されたハンディターミナル上に保存します。

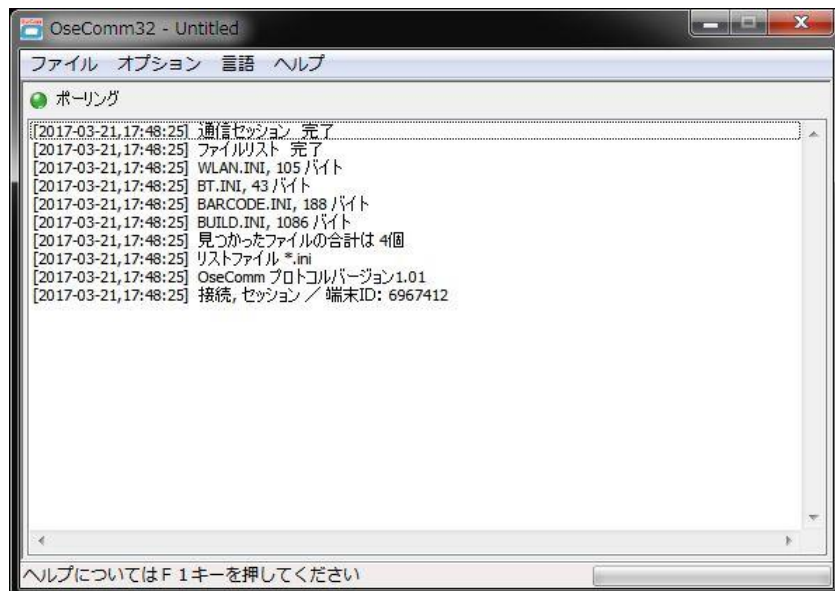
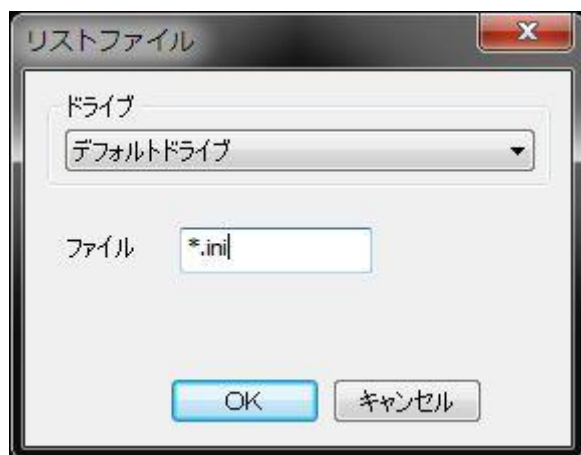
ドライブ		複数のドライブをサポートするターミナルの場合、 選択してください。 単一ドライブのみのターミナルの場合「デフォルト ドライブ」を選択します。
利用できない時に継続する		ファイル送信が失敗した場合に以降のタスクを続け て実施します。
(ファイルのリスト)		送信するファイルのリストを作成します。
	ファイル追加	リストにファイルを追加します。
	ファイル編集	リスト上の指定したファイルを変更します。
	ファイル削除	リスト上の指定したファイルをリストから削除しま す。
	ファイル全削除	リスト上の全てのファイルをリストから削除しま す。



- リストファイル

ハンディターミナル上のファイルの情報（ファイル名、サイズ）をリストアップします。

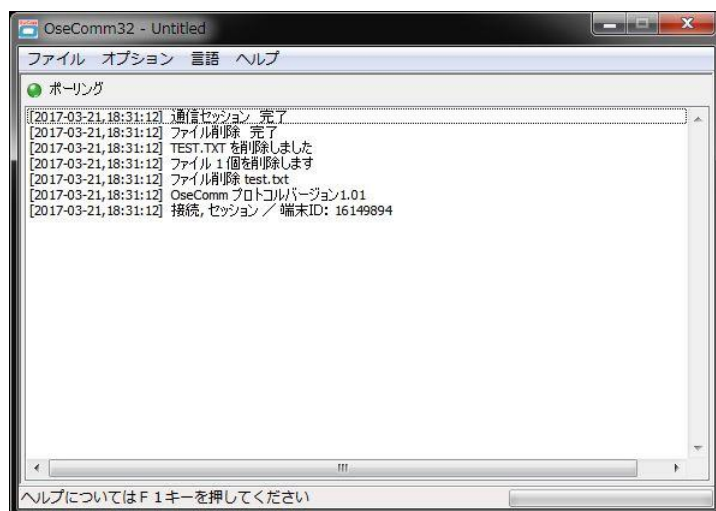
ドライブ	複数のドライブをサポートするターミナルの場合、 選択してください。 単一ドライブのみのターミナルの場合「デフォルト ドライブ」を選択します。
ファイル名	リストアップするファイル名を指定します。ワイルド ドカードを使用できます。



- ファイル削除

ハンディターミナル上のファイルを削除します。

ドライブ	複数のドライブをサポートするターミナルの場合、 選択してください。 単一ドライブのみのターミナルの場合「デフォルト ドライブ」を選択します。
ファイル名	リストアップするファイル名を指定します。ワイルド ドカードを使用できます。



改版履歴

Doc ID: TS17062

製品名: OseComm32

版数	日付	変更箇所	変更内容
初版	2017/03/27	-	(初版発行)
第 2 版	2017/11/30		デザインの変更

OseComm32

ユーザマニュアル

第2版 2017年11月発行

株式会社オプトエレクトロニクス

本社 〒335-0002
埼玉県蕨市塚越 4-12-17

TEL 048-446-1183

FAX 048-446-1184

E-mail sales@opto.co.jp

URL <http://www.opto.co.jp/>

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS Co., Ltd.

All rights reserved.